



あさかわ まちづくり ニュース

長野市浅川地区住民自治協議会 まちづくり計画推進委員会
平成30年2月1日 第2号 委員長・穂澤正夫 編集・北條昭吾

ゴマシジミ保護育成チームがながの環境パートナーシップ会議へ入会！

「ながの環境パートナーシップ会議」が1月18日、長野市役所で開かれ、「浅川地区まちづくり委員会」の「ゴマシジミ保護・育成チーム」が正式に入会しました。

この会議には「ゴマシジミ保護・育成チーム」の相澤晴雄リーダー、原田孝成活性化推進員、北條昭吾チームメンバーが出席、相澤リーダーから活動状況を発表、入会が正式に承認されました。

「ながの環境パートナーシップ会議」は環境保全に取り組む団体の集まりで現在24団体が参加、昨年12月16日には「ながの環境団体大集合」に参加して、浅川の長野市霊園に生息するゴマシジミの保護・育成活動を発表しました。

なお、入会によって活動資金5万円が支給されるとの事です。



浅川まちづくりで『ながのまちづくり活動支援事業補助金』申し込む



浅川地区まちづくり計画推進委員会の08チーム（浅川ダム周辺の景観他）は、1月11日、13名が出席して平成30年度に向けた活動内容が検討されました。

この会議では平成29年度の活動をふまえて、

- ① 伺去真光寺のウォーキングコースに、浅川ダム・ブランド薬師・マレットゴルフ場・薬師トンネルなどのコースを加えた「浅川地区ウォーキングコースマップ」の作成・看板設置。
- ② 仙境橋下流の浅川のホタル観察会事業。
- ③ 上記の活動を実現するため、長野市に『ながのまちづくり活動支援事業補助金の申請。
（事業費56万8382円を1月19日に申請。うち7割の長野市補助分・39万7000円、3割の17万1382円が住自協負担）
- ④ ブランド薬師の長野市の文化財指定を見据え「八楡神社保存会規約案」
- ⑤ 遊歩道間伐・草刈り・清掃活動など
- ⑥ 活動を支えるボランティアの新規参加者の拡大募集。

など参加者から活発な意見が出され、今後は具体的な計画を提示して活動を推進することになりました。

昨年12月13日に「薪割り機」を導入、里山整備事業に活用

長野市の「一支部一モデル事業」の3か年事業で、平成28年10月に里山整備に取り組む事を目的に「あさかわの里山と森を守る会」を設立しました。

里山整備で切った木材を薪などで販売する為には「薪割り機」の購入を要望していましたが、昨年12月13日に購入、浅川支所前で披露しました。



今回、長野市の補助で購入した「薪割り機」は72万円で、長さ60cmの薪まで割れます、*896 重さ 238Kg ですがタイヤがついているので、何人かで軽トラックで移動して据えつけて使うことができます。「あさかわの里山と森を守る会」(会員41人)では里山整備に向け「伐木作業・チェーンソーの講習」「炭焼き活動」「刈払い機取扱い講習」「里山整備の先進地視察」などを積み重ねてきました。